

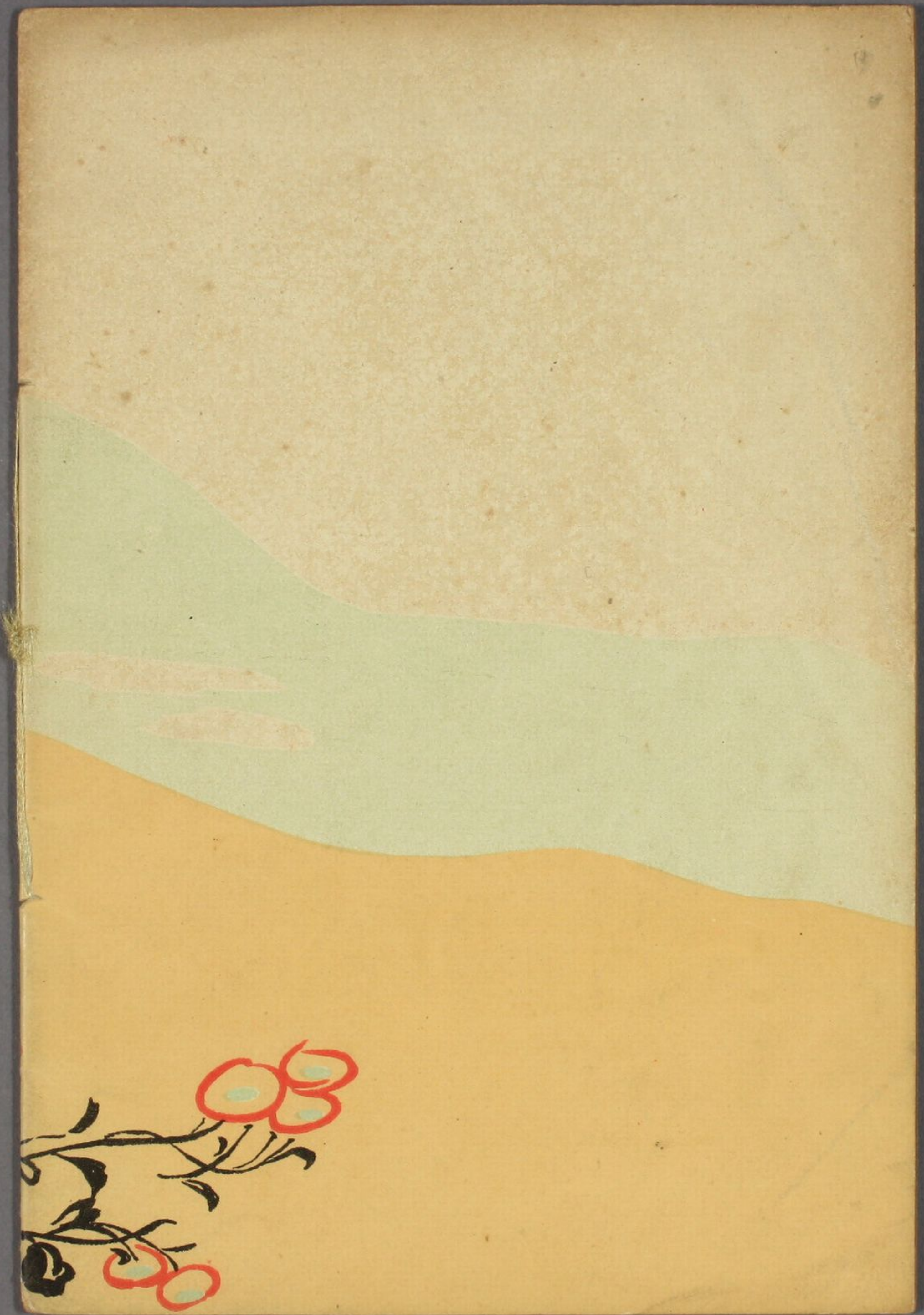
大正助年歌唱

第三集

(高橋)









大正幼奉唱歌

第三集

小松 葛原

松田 原

耕

輔 貞 齒

共 編

東京

目黒書店發兌



緒言

一、本集は幼稚園及び小学校幼年児童のために特に理論と實際との両方面より研究を重ねて發表したものであります。

二、從來幼稚園唱歌は其教材少く當事者が等しく困難を感じて居つたのであります。本集は其要求に應じて現はれたものであります。

三、また小学校に於ける唱歌も幼年児童が衷心より喜び歌ひ得る歌曲といふのが洵に尠いのであります。一體児童には彼等のみ稟け得ることの出来る特別の王國があります。それを考へず、大人が勝手に机上の空論に依つて製作したものがどう



して其等の兒童を喜ばせ且つ導くことが出来ませう。本集は此點に最も注意を拂つたものであります。

四、本唱歌集第一集第二集ともに多大の歡迎をうけ特に好意ある助言を賜はりし方々の多かりしことは著者の誠に光榮とする處であります。本集はそれらを參酌して更に研究を重ねたものであります。尙理論と實際との兩方面より十分の御批評を賜はらんことを希望に堪へません。

大正四年十一月

著者

大正幼年唱歌  
第三集目次

一、お月様	二	六、林檎	三
二、虫のこゑ	四	七、運動會の朝	一四
三、飛行船	六	八、腰掛	一六
四、天長節	八	九、落葉	一八
五、蓄音機	一〇	一〇、木舟泥舟	二〇





お 月 様

(～調四拍子)

小松耕輔作曲



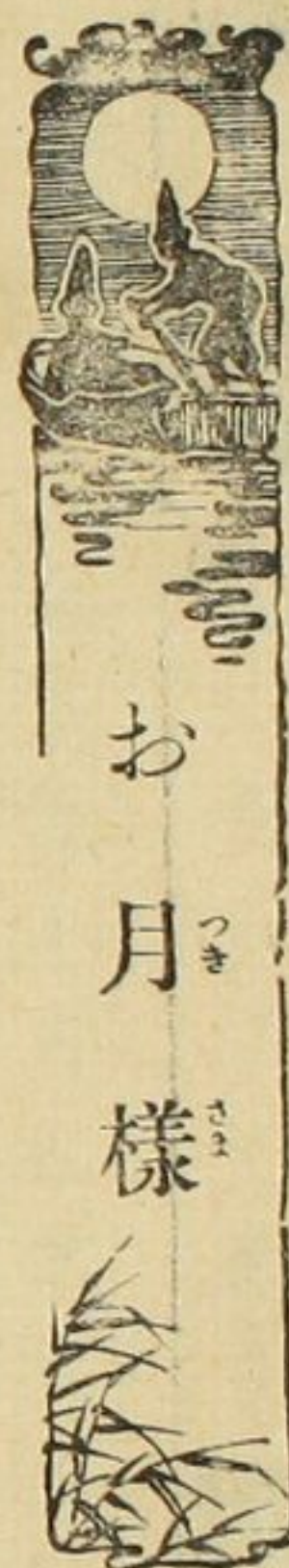
5 5 6 6 5 0 | 5 5 6 6 5 0 | 3 5 5 6 6 5 5 |  
 1. オツキサマ オツキサマ マルイガカホヲ  
 2. こどもだち こどもだち こんやはくもさへ



3 3 5 3 2 2 2 | 1 2 2 3 3 2 3 | 5 5 6 6 5 0 |  
 ニコニコサセテ ドウシテコンヤハ ソノヤウニ  
 かぜさへなくて につぼんこくちゆう ただひとめ



3 3 5 3 | 2 3 1 6 | 5 1 3 2 | 1 0 ||  
 アカルク オミセニ ナリマ スカ  
 みんなの ぶがほも みえる かり



一、お月様、お月様

丸いお顔をニコニコさせて

どうして今夜はそのやうに

あかるくお見せになりますか。

二、子供だち、子供だち

今夜は雲さへ風さへ無くて

日本國中たゞ一目

皆の笑顔も見えるから。





虫のこゑ

(ハ調二拍子)

小松耕輔作曲



1̣ 2̣ 1̣ 6̣ | 1̣ 2̣ 1̣ 6̣ | 5̣ 6̣ 5̣ 3̣ | 5̣ 0̣ |

リン リン リン チ リン ム シガナク



6̣ 6̣ 1̣ 6̣ | 5̣ 6̣ 5̣ 3̣ | 2̣ 2̣ 1̣ 2̣ | 3̣ 3̣ 2̣ 0̣ |

まつむし すすむし すすしいこゑで



3̣ 3̣ 5̣ 5̣ | 6̣ 6̣ 5̣ | 3̣ 3̣ 2̣ 1̣ | 5̣ 0̣ |

おにはのくさのつゆすつて



6̣ 6̣ 1̣ 6̣ | 5̣ 5̣ 3̣ | 1̣ 6̣ 5̣ | 1̣ 0̣ ||

すすしいこゑで リン チ リン



虫のこゑ

リン、リン、チリリン、虫がなく。

松虫、鈴虫、涼しいこえて、

お庭の草の露すつて、

涼しい聲で、リン、チリリン。





飛行船

(~ 調二拍子)

梁田真作曲

5. 6 5 3 | 5. 6 5 0 | 3. 4 3 2 | 3. 0 |  
う なり を た て て あ を ぞ ら に

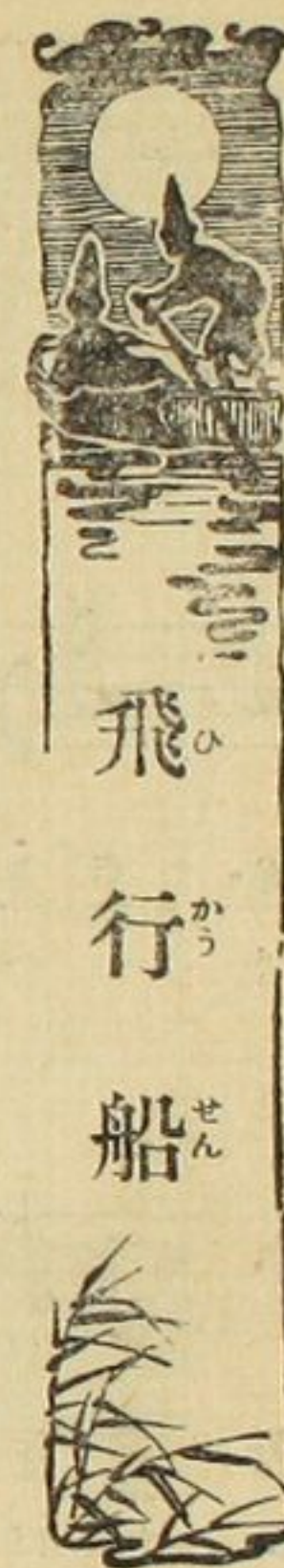
5. 6 5 3 | 6. 6 5 3 | 5. 5 3 2 | 1. 0 |  
う か ん で す す む よ ひ か う せ ん

5. 5 | 6 1 | 2. 3 | 2. 0 | 3. 3 | 2 3 | 5 - | 5 0 |  
つ る し た ふ れ に ひ と が め る -

5. 5 | 5 - | 6. 6 | 6 5 | 3. 3 | 5 3 | 2 - | 2 0 |  
ひ と が ば う し を ふ つ て め る -

6. 6 | 6 - | 1. 1 | 6 5 | 1. 1 | 2 2 | 3 - | 3 0 |  
し た を み な が ら ふ つ て め る -

5. 5 | 5 3 | 6. 6 | 6 5 | 3 5 | 3. 2 | 1 - | 1 0 ||  
ば ん ざ い ば ん ざ い ひ か う せ ん -



唸り<sup>うな</sup>りをたて、青空<sup>あそら</sup>に  
浮<sup>うか</sup>んで進<sup>すす</sup>むよ飛行船<sup>ひこうせん</sup>

つるした船<sup>ふね</sup>に人<sup>ひと</sup>がある、

人<sup>ひと</sup>が帽子<sup>ぼうし</sup>を振<sup>ふ</sup>つてゐる、

下<sup>した</sup>を見<sup>み</sup>ながら振<sup>ふ</sup>つてゐる。

萬<sup>ばん</sup>歳<sup>さい</sup>!!

萬<sup>ばん</sup>歳<sup>さい</sup>!!

飛<sup>ひ</sup>行<sup>かう</sup>船<sup>せん</sup>!!





天 長 節

(ハ 調 二 拍 子)

小 松 耕 輔 作 曲



3 2 1 | 5 5 5 3 | 6 6 6 i | 5 5 5 0 |  
 1. ケ フ ハ メ デ タ イ テ ン チ ヤ ウ セ ツ ヨ  
 2. け ふ の め で た い て ん ち や う セ ツ に



3 2 1 | 5 5 6 5 | 3 3 2 1 | 2 2 1 0 |  
 ドウ シ テ オ イ ハ ヒ イ タ シ マ セ ヲ カ  
 みん な で し つ か リ ヤ く そ く し ま せう



5 5 5 | 6 6 5 6 | i 2 i 6 | 5 5 3 0 |  
 ミン ナ デ オ ホ キ ナ オ コ エ ヲ ソ ロ ヘ  
 い ま に お ほ き な お と な に な つ て



5 6 5 | 3 3 2 1 | 2 2 5 5 | 3 2 1 0 |  
 バン ザ イ ト ナ ヘ テ オ イ ハ ヒ シ マ セウ  
 ちう ぎ な つ ー く イ ヤ く そ く し ま せう



5 5 | 6 5 | i 2 | i 0 ||  
 テン ノウ ヘイ カ バン バン ザイ  
 てん のう へい か ばん ばん ざい



天 長 節

一、 今日(けふ)は芽出度(めでた)い天長節(てんちやうせつ)よ。  
 何(なに)らしてお祝(いわ)ひいたしませうか。

皆(みんな)で大きなお聲(こゑ)をそろへ、  
 萬歳(ばんざい)となへてお祝(いわ)ひませう。

二、 今日(けふ)の芽出度(めでた)い天長節(てんちやうせつ)に、  
 皆(みんな)で、しつかり約束(やくそく)しませう。

天皇(てんのう)陛下(へいか)下(か)萬々(ばんばん)々(ざい)歳(さい)。  
 今日(けふ)に大きな大人(おとな)になつて、  
 忠義(ちゆうぎ)を盡(つく)す約束(やくそく)しませう。





蓄音機

(ハ調二拍子)

梁田貞作曲



1. ハ コ ノ ナ カ カ ラ コ エ ガ テ ル  
2. こ ん ど は が く た い い さ ま し い



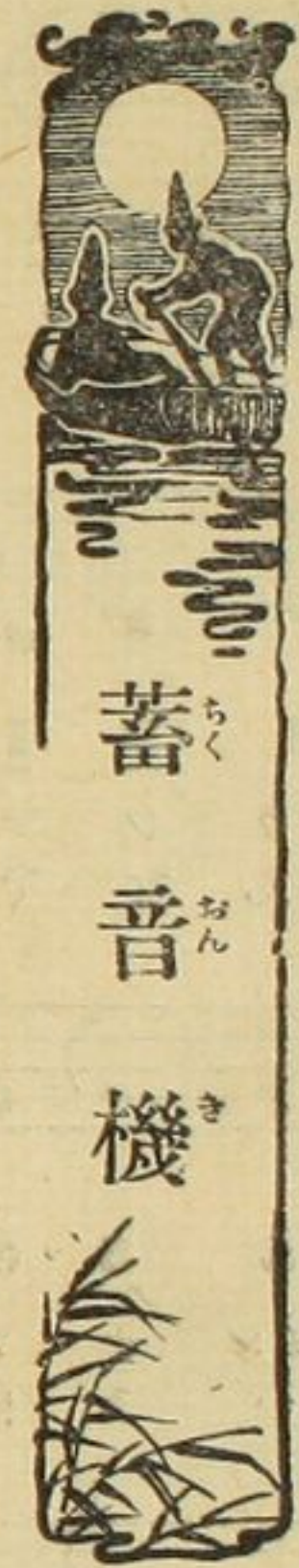
6 6 5 | 1 6 5 3 | 2 1 2 3 | 2 0  
ラツ パ ノ オ ク カ ラ コ エ ガ テ ル  
び び い ど ん ど ん い さ ま し い



3 2 1 2 | 3 2 1 2 | 3 5 6 5 | 1 1 6 0  
ア レ ア レ ブ 井 プ ン オ ホ キ ナ コ エ ヨ  
た い こ や ふ え を ー た た い て ふ い て



5 3 1 | 1 1 6 | 5 5 3 2 | 1 0  
タ レ ガ ウ タツ テ 井 ル ノ テ セ ヲ  
ど こ で な ら し て む る の で せう



一、箱の中から聲が出る  
ラツパの奥から聲が出る  
あれ〜随分大きな聲よ。  
誰が歌つてゐるのでせう。

二、今度は樂隊いさましい  
ビイ〜、ドン〜いさましい  
太鼓や笛をた〜いて吹いて。  
何處でならしてゐるのでせう。





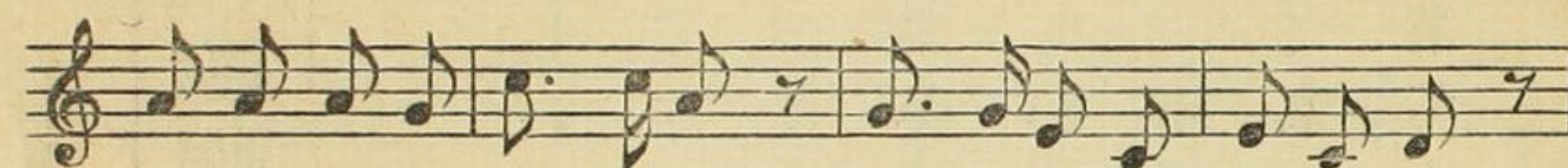
林 檎

(ハ 調 二 拍 子)

梁 田 貞 作 曲



5 5 5 3 | 1. 1 1 0 | 2. 2 1 2 | 3 5 5 0 |  
 1. リンゴハキレイアカクテキレイ  
 2. りんごのやうにまつかなおかほ



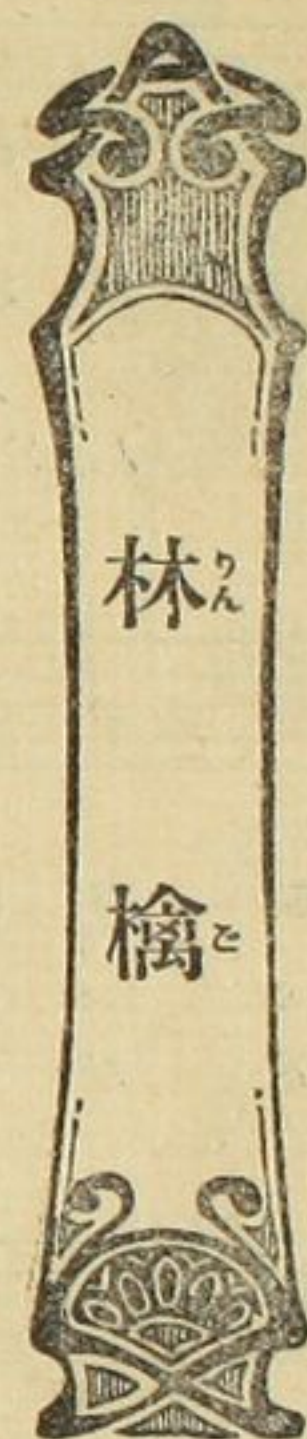
6 6 6 5 | i. i 6 0 | 5. 5 3 1 | 3 1 2 0 |  
 リンゴハマルイマルマルコエテ  
 りんごのやうにまるまるこえて



3 3 3 5 | 6. 6 6 5 | i. 2 i 6 | 5 5 3 0 |  
 アカクテマルマルキレイニコエテ  
 あかくてまるまるきれいにこえて



5 5 5 3 | 6. 6 5 3 | 5. 5 3 1 | 2 2 1 0 ||  
 サウシテオチレバコロコロボア  
 わたしはいつでもげんきであそぶ



一、林檎はきれいな、赤くてきれいな。

林檎は圓い、まるくこえて。

赤くて、まるくきれいに肥えて、

さうして、落ちれば、ころく転ぶ。

二、林檎のやうに真赤なお顔。

林檎のやうに、まるくこえて、

赤くて、まるくきれいに肥えて、

私は、いつでも、元気で遊ぶ。





運動會の朝

(ハ調二拍子)

梁田貞作曲

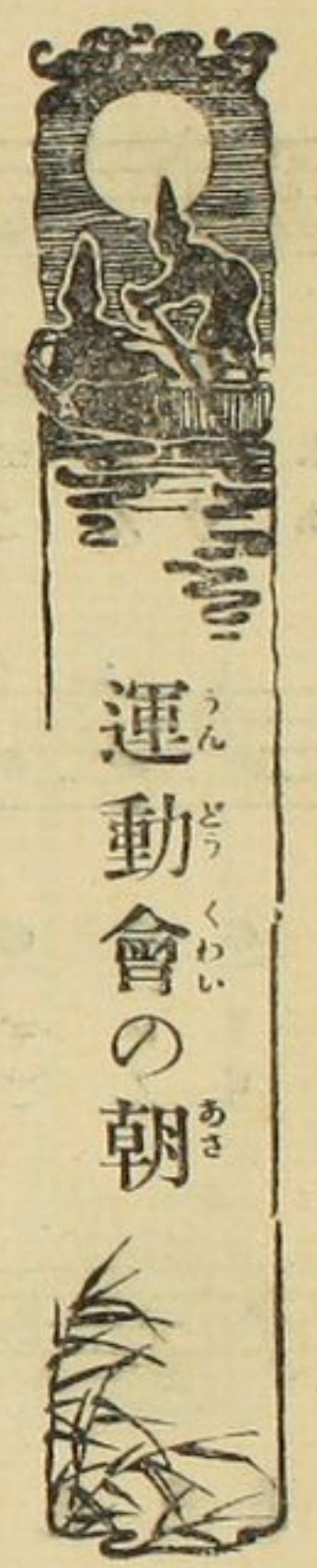
Musical score for 'Morning of the Sports Meeting' (運動會の朝). The score is written in treble clef with a 2/4 time signature. It consists of four staves of music with corresponding lyrics in two columns below each staff. The lyrics are in Japanese and describe the excitement of the sports meeting.

1. ケフ ハ ウ レ シ イ ウン ドウ クワイ  
 2. けふ は う れ し い うん どう くわい

ハ タ ト リ カ ケ ツ コ バ ス ケ ツ ト ホ オ ル  
 す す わ り つ な ひ き ぐ ん か ん あ そ び

ノ コ ラ ズ カ ツ テ キ マ ス カ ラ  
 わ た し が か つ て く る や う に

ウ チ デ モ ゴ ホ ウ ビ ク ダ サ イ ナ  
 み ち な で み に き て く だ さ い な



一、今日はうれしい運動會  
 旗取、駈つこ、バスケットボール  
 残らず勝つて来ますから  
 家でも御褒美くださいな。

二、今日はうれしい運動會  
 鈴割、綱引、軍艦あそび  
 私が勝つて来るやうに  
 皆で見に来てくださいな。





腰 かけ

(ハ 調 二 拍 子)

梁 田 貞 作 曲

Musical score for 'Waikake' in 2/4 time, F major. The score consists of four staves of music with corresponding lyrics and numbered fingering below each staff.

1. イ ウ ヤ シ ャ ッ カ レ タ ラ  
2. ま だ ま だ つ か れ め く た び れ め

6. イ ツ デ モ コ チ ラ ヘ コ シ カ ケ テ  
け れ ど も お け い こ す ん だ な ら

3. オ ヤ ス ミ ナ サ イ ト イ ヒ タ イ ヤ ウ ニ  
み ん な で な ら ん で お や す み し ま せ う

5. ナ ラ ン テ キ ル ノ ハ コ シ カ ケ ヨ  
ま つ て て く だ さ い こ し っ け よ



腰 かけ

一、遊戯や唱歌で疲れたら、  
いつでもこちらへ腰かけて  
お休みなさいと言ひたいやうに  
ならんでゐるのは腰かけよ。

二、まだまだ疲れぬ、くたびれぬ、  
けれどもお稽古すんだなら  
皆でならんで、お休みませう。  
待つててください、腰かけよ。





落 葉

(= 短調四拍子)

小松耕輔作曲

3. 3 4 3 | 1 1 7 0 | 6. 6 7 7 | 3 1 3 0 |  
 き の は が お ち た す す し い か げ を

6. 6 4 4 | 3 3 1 0 | 7. 7 1 6 | 7 7 1 0 |  
 し て め て く れ た き の は が お ち た

3 4 4 3 1 | 7 7 6 0 || 3. 3 4 3 | 1 1 7 0 |  
 し ら め ま に お ち た ど の き の え だ も

6. 6 7 1 | 3 1 3 0 | 6. 6 4 4 | 3 3 1 0 |  
 は が み な お ち て よ く ひ が さ す よ

7. 7 1 6 | 7 7 1 0 | 3 4 4 3 1 | 7 7 6 - ||  
 ひ の さ す と こ へ み ん な で て あ そ べ



木の葉が落ちた。  
 すゞしい影をしてゐてくれた、

木の葉が落ちた。  
 知らぬ間に落ちた。

何の木も、  
 葉が皆落ちて、よく日がさすよ。

日のさす所へ、  
 みんな、出て、あそべ。





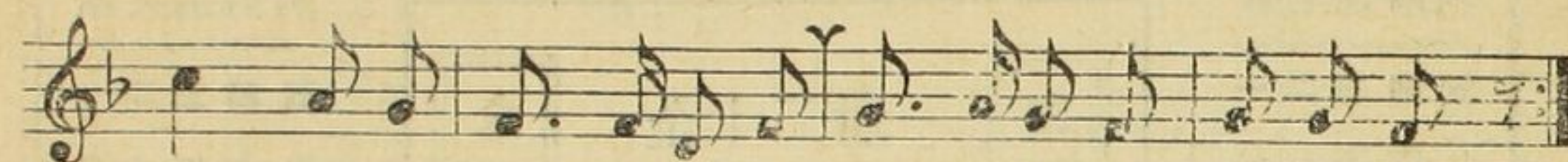
木舟泥舟

(〜調二拍子)

小松耕輔作曲



3. 3 2 1 | 6. 6 5 0 | 6 5 1. 2 | 3. 0 |  
 ウ サ ノ フ ネ ハ キ ノ フ ネ デ  
 た め き の ふ れ は ど ろ ぶ れ で



5 3 2 | 1. 1 6 1 | 2. 3 2 1 | 2 2 1 0 :|  
 マ ヘ ノ ハ ウ ヘ ト イ サ デ ス ス ム  
 と る り と る り と み る る と け る



||: 6. 6 5 | 1. 2 3 3 | 5 5 3 | 2 1 2 0 |  
 ス ル ト ウ サ ハ ツ ツ タ チ ア ガ リ  
 そ こ で た め き は か ひ を ば す て て



3 2 1 | 6. 6 5 6 | 1 3 2. 1 | 2 3 3 0 |  
 モ ツ タ カ ヒ ヨ バ ウ チ フ リ ア ゲ テ  
 な る な る ご 一 点 に り や う て を あ げ せ



5 5 3 | 6. 6 6 5 | 3. 3 2 2 | 1. 0 :|  
 オ モ ヒ シ ツ タ カ タ ヌ キ ド ノ  
 い の ち げ か り は う さ き さ ま



木舟泥舟

兎の舟は木の舟で  
 前の方へと勇んで進む。

狸の舟は泥舟で

とろりくと見るくとける。

すると兎は突つ立ち上り

持った櫂をば打ち振り上げて

「思ひ知つたか、狸どの。」

そこで狸は櫂をばすて、

をろく〜聲に両手を合せ

「命ばかりは、兎さま。」



次目第五第	次目第四第	次目第三第	次目第二第	次目第一第
五四三二一	五四三二一	五(四)三二一	五四三二一	五(四)三二一
おべんたう	おんぼり	おんぼり	おんぼり	おんぼり
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
鬼お玉	燕おんぼり	犬積と	木落泥舟	せおア小か
島がくし	子	猫木真	舟葉掛朝橋	み婦コ鯉る

次目第七第	次目第六第
五四三二一	五四三二一
お電雁	お砂場遊
祭り車	象細工
〇九八七六	〇九八七六
乳菊お客	粘土細工
母様	様

次目第二十第	次目第十九第	次目第十八第	次目第十七第	次目第十六第
五四三二一	五四三二一	五四三二一	五四三二一	五四三二一
子太雞	雲花小	蠟自	記文	時雲風舌
猫陽	瓶の犬	動車	念茶日	切雀雀
〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六	〇九八七六
木森遊	カン少小	鈴進獨	難電鯉	大軍熊
馬歌戯	ル兵士	の音軍	まつのり	みら紙

完 册二十全 全

錢五拾金價定册各

錢貳金册各稅郵 部

成

改正價金貳拾錢

大正四年十一月十五日發行

定價金拾五錢

著作權法ニ依リ謄寫及蓄音機ノ吹込ヲ禁ズ

編輯者 小松耕輔  
編輯者 梁田貞  
發行者 東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地 目黒甚七  
印刷者 東京市京橋區弓町二十五番地 高橋郁

發行所 東京市京橋區南傳馬町二丁目 新鴻長岡市表四ノ町(本店) 目黒書店 (電話京橋二一六三番) (振替口座二八〇九番)



